

高圧注入プラグ

高圧注入プラグは、コンクリート構造物の亀裂・打継ぎ及びジャンカ部のエポキシ樹脂注入接着工法に用いられる注入プラグです。コンクリートへの固定や取り外しが容易で、かつ耐圧性に優れます。注入ポンプを用いてエポキシ樹脂の注入を多量に連続的にできるため、躯体厚みのあるコンクリート構造物の高圧注入補修工事に適します。

高圧注入プラグの 主な特徴

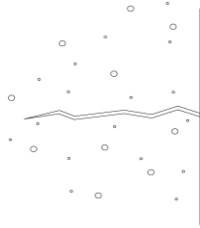
1. $\phi = 10\text{mm}$ 程度の削孔のみで取り付けができるため躯体を大きくキズつけることなく注入補修が可能である。
2. 逆止弁により注入材の逆流がなく確実な注入ができる。
3. 耐圧性に優れ、注入液を躯体内部へ確実に充填できる。
4. 注入ポンプを用い、注入液を多量に連続的に充填できる。
5. コンクリートへの締付け固定や取外しが容易である。
6. 高粘度～低粘度までのさまざまなエポキシ樹脂に対応。



●施工手順

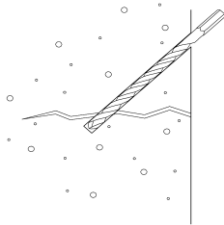
① 削孔位置決め

損傷の状況により注入孔の位置及び深さを決定する。



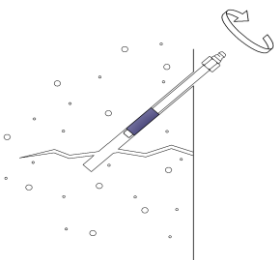
② 注入孔削孔

損傷部分を貫通する注入孔φ9.5を削孔し、孔内をエアブローする。



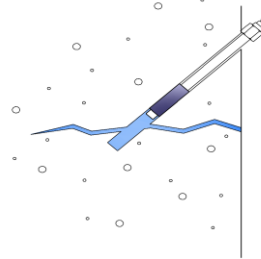
③ 注入プラグ固定

注入プラグをセットし、締め付け、コンクリートへ固定する。



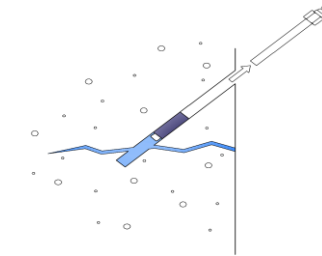
④ 注入

注入プラグからエポキシ樹脂を圧入する。



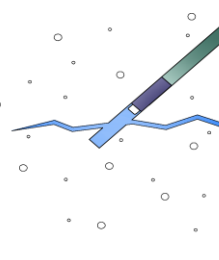
⑤ 注入プラグ除去

充填液硬化後、プラグ上部を撤去する。



⑥ 仕上げ

凹部をセメントモルタル又はエポキシシーリングパテでシールする。



●注入補修用エポキシ樹脂接着剤の種類

①「アルファテック300」 汎用型低粘度エポキシ樹脂接着剤

低粘度でコンクリートへの浸透性に優れ、かつ可使用時間が長く、コンクリート構造物の注入、接着に適します。

②「アルファテック340」 水中硬化型低粘度エポキシ樹脂接着剤

水中硬化でコンクリートを破壊する接着強度を示し、かつ低粘度で可使用時間が長く、濡れたコンクリートや水中でのコンクリート構造物の注入接着に適します。

③「アルファテック344」 水中硬化型高粘度エポキシ樹脂接着剤

水中硬化で高い物性を示し、かつ硬化時の発熱や収縮が低く、充填間隙が大きい、濡れたコンクリートの亀裂・ジャンカやアンカーボルトの注入接着に適します。

④「アルファテック370」 油面接着型低粘度エポキシ樹脂接着剤

油濁面接着で、コンクリートを破壊する強度を示し、かつ低粘度で可使用時間が長く、油濁した機械装置の基礎やコンクリート構造物の注入接着に適します。

(REV-02 08.06.11)